

国会闘争速報

2006年11月29日 第29号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkai tousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

28日夜の国会前集会

各地の高揚を国会へ

30日からリレーハンスト再開

28日午後6時、「教育基本法の改悪をとめよう！全国連絡会」が主催する国会前集会が開催された。首都圏の教育労働者を中心に280人が集まった。

冒頭、呼びかけ人の小森陽一さんが「11月25日、北海道の1万人集会に参加してきました。全国各地で、教育基本法改悪に反対する声があつた。悪反対の音がどんどん大きくなっています」と報告した。「共謀罪に反対する表現者たちの会」に所属するミュージシャン・ZAKIさんが教育基本法改悪に反対する新曲を披露しようとする、制服警官が殺到。みんなで妨害をうち破って歌いきった。千葉県佐倉市、神奈川県葉山町など各地で教基本法改悪反対運動をしている人からの報告もあつた。



東京の「日の丸・君が代」被処分者Fさんが「待ちに待ったハンスト、再開です！」と訴えると、大きな歓声がわいた。

また、全国連絡会から、12月3日には若い世代を中心に東京・渋谷でのデモパレード、5日は国会前集会、6日から8日は連日9時から午後5時まで国会前座り込みを行うことが提起された。集会後は首相官邸前に移動し、大きな声でシュプレヒコールを上げた。

共謀罪の審議入りを阻止

この日は早朝から「破防法・組対法に反対する共同行動」が「審議入り阻止」の国会行動に立ち上がった。与党が前日から「共謀罪の審議入り」強行採決を強行に主張し始めたからである。緊迫した状況下での座り込みが続いた。ピラマキや集会も随時行われた。議会内での自民党の汚いやり口に怒りの声があつた（下の写真）。

国会前の集会では、「共謀罪に反対する表現者たちの会」のFさんが「自民党は『国際条約

行動予定

- 11月29日から連日の16時〜18時、東京教組の国会前座り込み
- 11月30日から連日の9時〜18時、リレーハンスト&座り込み
- 12月1日（金）11時半〜、国会前リレー集会18時〜、総決起集会デモ/ところ：在日本韓国YMCAアジア青少年センタースペーススヨール（千代田区猿樂町2の5の5）/主催：反戦共同行動委員会
- 12月3日（日）1億2千万人共謀の日3/12時〜15時、有楽町マリオン前リレーアピール
- 12月3日（日）12時50分〜（若者による）PEACE&FAIRパレード/渋谷・宮下公園
- 12月5日（火）10時〜13時、共謀罪阻止の国会前行動（主催：共同行動）/18時〜19時、国会前集会（主催：全国連絡会）
- 12月6〜8日の9時〜17時、全国連絡会の国会前座り込み
- 12月6日（水）17時〜18時半、「ヒューマン・チェーン 第3弾」

の批准のため』とのデマが暴かれると、『解明のために審議に入ろう』とほざいた。共謀罪審議入りを絶対に許さないあらゆる大衆闘争をやるう」と提起した。この日の審議入りは阻止したが、緊迫情勢に連日の闘いを構えていくことが確認された。

教

基法改悪政府案の第16条、「教育は、不当な支配に服することなく、この法律及び他の法律の定めるところにより行われるべきものであり…」の意味について、伊吹文科相は次のように言った。

『「不当な支配」という文言を残したのは、国会で決めた法律による教育と違うものが特定のイズムによって行われることを防止するためだ』

「もう一つは、学習指導要領に基づいて行われる教育は『不当な支配に当たらない』ことを明記したことです。国旗国歌に関する東京地裁の判決（9・21予防訴訟判決）には控訴して争っているが、この点を明確にするのが今回の第16条だ」（いずれも11月22日の参院特別委での答弁）

怒りなしに聞けない発言

だが、ここに教基法改悪の狙いがある。「不当な支配」の意味を180度逆転させ、教職員組合の存在と闘いを圧殺することが核心だ。

そもそも現行教基法第10条の「不当な支配に服することなく」という

“「不当な支配」は教組” 文科相答弁に反撃を!

文言は、戦前に国家が教育現場を支配し、教育を戦争動員の道具としたことに對する否定から生まれたもので、教育行政の「不当な支配」を禁じ、教育の自主性をうたったものである。ところが改悪案は、「正当な支配」が国と法律によるもので、「不当な支配」が「特定のイズム」＝教組の存在にしようとしている。安倍政権は、この第16条を通して「国家のための、国家権力による愛国心教育」に戻

ることを狙っているのだ。

しかし重要なのは、教育労働者の側が全面的に勝利した9・21判決を再三問題にしていることである。この判決は、「日の丸・君が代」の強制が「教基法10条の不当な支配に該当する」から違法だと断定し、違法な通達や職務命令に従う義務はない、としたものだ。教育労働者が、処分を恐れず、3年にわたって不起立・不伴奏で闘い抜いたがゆえに勝ち得た判決である。

安倍政権と支配階級が恐れているのは、教育労働者の団結した闘いである。団結を強化して立ち向かおう。

前 言 の 発 言

11月28日

●東京「日の丸・君が代」被処分者Fさん 待ちに待ったハンスト、再開です。30日9時からここに集合して、リレーハンスト&座り込み行動をやります。先日の「朝まで生テレビ」では、八木秀次さんが日教組の座り込みを批判したそうですが、逆に言えば、それほど国会前での闘いは有効なんです。今の国会議員たちは国民の声を聞きたくない。だけどここを通ると、否が応でも声を聞かざるを得ない。これからも徹底的に国民の声を聞かせましょう。

北海道で1万人集会 改悪阻止で大同団結

規模で成功しています。安倍政権の支持率が15%下落した。安倍政権が小泉政権と連携して汚い方法で世論を捏造し、子どもたちを死に追いやってきたことが明らかになったからです。教育基本法にもとづかない教育こそが子どもたちを苦しめ、先生がたを苦しめているという現実をもっと広めよう。そうすれば参議院で教基法改悪を廃案にできます。一日一日を全力で闘いぬこう。

私たち、教育基本法改悪反対派が多数派なんです。だから、教育基本法改悪案は絶対に廃案にできる。阻止できる。みんなでこの運動をどんどん広げましょう。またみんなでハンスト、座り込み、なんでもできることをやっていきましょう。そして仲間をどんどん増やしましょう。廃案まで頑張ります。

●全国連絡会呼びかけ人・小森陽一さん

教基法改悪反対の声がしつかりと全国からあがっています。私は11月25日、北海道に行きました。組合や組織の壁を乗り越えて、お年寄りから若い人たちまで1万人を超える人が集まり、「教育基本法改悪を許してはならない」と熱い声をあげました。全国各地で、大きな集会がすべてかつてない

規模で成功しています。安倍政権の支持率が15%下落した。安倍政権が小泉政権と連携して汚い方法で世論を捏造し、子どもたちを死に追いやってきたことが明らかになったからです。教育基本法にもとづかない教育こそが子どもたちを苦しめ、先生がたを苦しめているという現実をもっと広めよう。そうすれば参議院で教基法改悪を廃案にできます。一日一日を全力で闘いぬこう。

11月25日（土）、札幌市大通り公園で「教育基本法改悪案を廃案にしよう! 11・25全道1万人集会」が開催された。上部団体の違いを超えて教育労働者が総結集し、市民団体も含めた大統一集会としてかちとられた。集会中、司会者から「参加が1万人を超えました」と報告されると、会場から大きな歓声があがった。

小樽から駆けつけた保護者は「国に教育をのつとられてはいけない。可能性がゼロに成らない限り、たたかい続ける」と決意表明した。

集会後、13台の宣伝カーが動いて長蛇のデモ行進。参加者は、声の出せる限りの大声でアピールした。